

目標（8）

ハーモニーを奏でる
快適な都市空間をつくります



▲論地どんぐり公園 開園式

I. 目指す姿【PLAN】

| | |
|--------------|--|
| 目標達成に向けての考え方 | 住み続けたいと思える快適なまちをつくるために、地域の特性に応じた秩序ある土地利用を推進し、住環境、ライフライン、道路、景観・憩いの場など、都市を形成するそれぞれの要素を調和（ハーモニー）させていきます。 |
| 目標が達成された姿 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 都市空間の調和が保たれ、快適に暮らせる住環境やライフラインの整備が進んでいます。 ◇ 誰もが日常生活において、スムーズに移動できる環境づくりが行われています。 ◇ 公園・緑地などが、やすらぎや愛着・誇りが感じられる憩いの場として親しまれ、笑顔と賑わいであふれています。 |

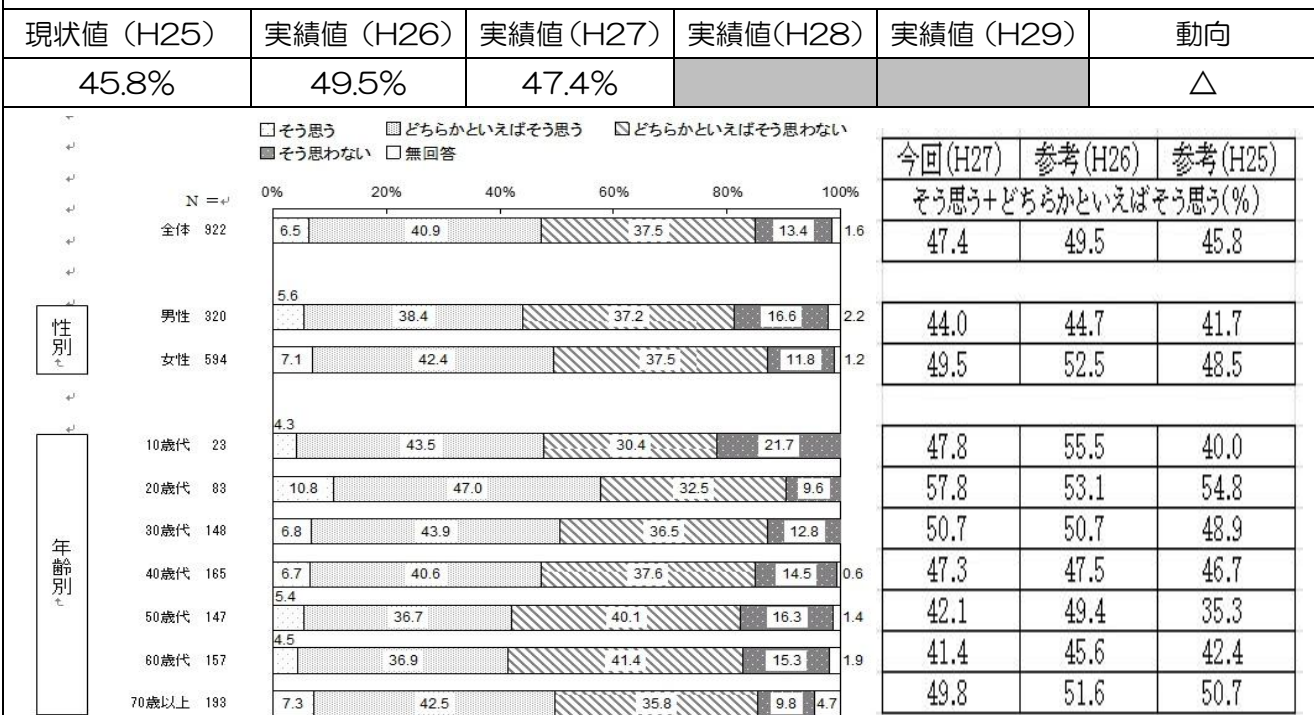
II. 目標達成のための主な取組み【DO】

| こんなことに取り組みます！ | 何を・どのように・どうした | いつ |
|--|---|-----------------|
| (1) 住環境やライフラインの整備など、都市空間の快適さや安全性、魅力を高める取組みを進めます。 | ①「汚水処理整備に関するアクションプラン」を策定した。 | H27.12 |
| | ②平成 27 年度工事予定区域内の污水管整備工事を完了した。 | H28.3 |
| | ③配水管を耐震管に入れ替える工事を完了した。 | H28.3 |
| (2) 安全・安心・便利に移動できるよう道路を整えるとともに、公共交通の利用も促進します。 | ①いきいき号の平成 27 年度末利用者 27,824 人 対前年比 △6.9% | — |
| | ②市道港線整備に伴い、横浜橋南工区の地権者と用地・物件補償の交渉を実施した。 | H27.4～ H28.3 |
| | ③道路の各種工事（舗装補修、照明灯等の取替工事など）を行った。 | H27.4～ H28.3 |
| (3) 公園・緑地、街路樹や水辺空間などを地域の財産としてとらえ、地域と連携しながら、特性を活かした憩いの場づくりを進めます。 | ①防災機能を備えた論地どんぐり公園の工事が完了し、供用開始が出来た。 | H27.8 |
| | ②公園・緑地、街路樹や水辺保全に関するまち協やNPO団体等の行事に参加し、活動を支援した。 | H27.4～ H28.3 |
| | ③愛・道路パートナーシップへの支援を行った。 | H27.4～ H28.3 |
| 参画・協働・情報共有の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ☆污水管の整備区域に関する地元説明会を開催した。 ☆事業者、利用者等で構成する地域公共交通会議で、いきいき号の運営方針を決定した。 ☆市道港線整備に伴い、現場へ出向き、周辺住民の方との意見交換を行った。 | |

Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

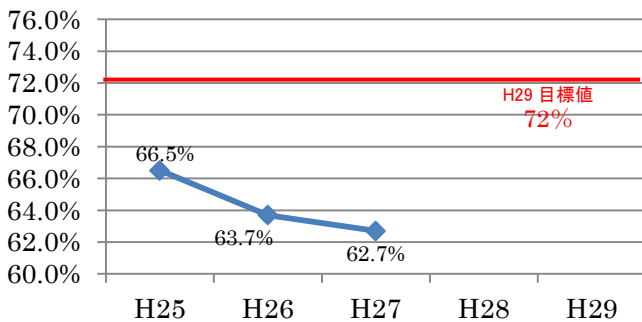
1. 市民意識調査結果

【設問】調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う

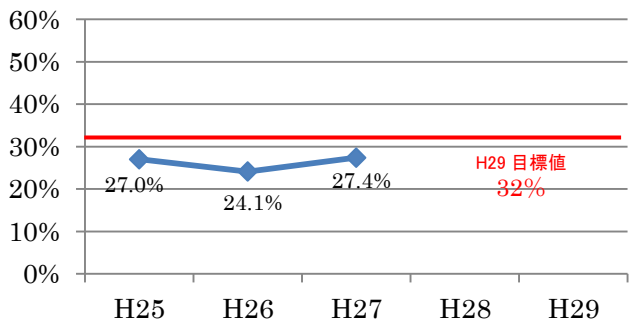


2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合



2) 公園・緑地、街路樹や水辺空間づくりに参加したことがある人の割合



3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析（要因・課題等）

- 市民意識調査結果は、策定時と比べ 1.6 ポイント増加しているが、前年からは 2.1 ポイントの減となった。
- また、指標 1) は、策定時から連続して低下している。「安全・快適で移動しやすいまち」及び「暮らしやすい環境の形成」における公共インフラ等の整備については、中長期にわたるため短期間での効果が表れにくい、計画的かつ着実に進めて行くことが大切である。
- 指標 2) は、前年は減少したが、今回は策定時を上回る結果となった。「公園・緑地、街路樹や水辺空間づくりに参加したことがある人」を増やすためには、地道な活動・取組みにおいて時間軸を長くもち、地域みなさんと連携しながら活動の輪を広げていくことが重要である。

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

| 課題 | 課題解決に向けた新たな取組み（案） 見直し・改善（案） | いつまでに |
|---|---|-------|
| <u>（１）快適なまちをめざした公共インフラの整備</u> ・高浜市公共施設総合管理計画に基づき、各個別施設の老朽度・劣化度を把握し、公共インフラ（道路、橋梁、公園、水道、下水道等）の長寿命化を進める必要がある。 ・中長期的な維持管理コストの平準化等のために、長寿命化計画の策定を進める必要がある。 | ・道路舗装、橋梁等の調査、点検結果に基づき優先度の高い路線から、橋梁補修設計並びに舗装修繕工事等を進める。 | H29.3 |
| | ・高浜市公共施設総合管理計画に基づき、都市公園（12箇所）の長寿命化計画の策定し、予防保全型の維持管理を進める。 | H29.3 |
| <u>（２）地域と連携した憩いの場づくり</u> ・公園・緑地等が住民の皆さんにとって最も身近な施設として愛され、維持管理や施設づくりを通して、快適な居住空間の形成につなげる必要がある。 | ・引き続き、まち協やNPOなどの各種団体が行う公園・緑地、街路樹や水辺空間の保全に関する行事への支援を行い、地域の皆さんとの連携を密にし、憩いの場づくりを進めていく。 | H29.3 |
| | ・供用を開始した論地どんぐり公園の維持管理について、日常の点検やイベントを通じて、地元の皆さんとの関わりを深め、地域で担っていただけるようお願いしていく。 | H29.3 |
| <u>（３）着実な進捗と国・県との連携</u> ・公共下水道事業及び水道事業の推進にあたっては、長期的な観点に立ち計画的に事業を進めるとともに、計画協議や財政支援など、国・県との連携が必要である。 | ・高浜市公共下水道計画に基づき、計画的に汚水管の整備を行うとともに、水道事業の健全経営を考慮しながら事業を進める。 | H29.3 |
| | ・災害時の避難場所である、重要給水施設（高取小学校・高浜中学校）への配水管を耐震管に布設替えを行う。 | H29.3 |
| | ・目標達成に向け、今後も国・県等の関係機関と連携していく。 | H29.3 |
| 参画・協働・ 情報共有の工夫 | ☆利用者、事業者、運転手等で構成する地域公共交通会議で、いきいき号の路線等の見直しを検討する。 ☆道路工事等の情報提供を、地元町内会への回覧などで徹底する。 ☆地域と連携した憩いの場づくりを進めるため、行事への参加を継続し、直接市民の声を聞くことでニーズを把握する。 | |

V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

II. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

—

III. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

- 10歳代の「調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思ふ」人の割合が減少している。その要因を分析することが重要である。

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

—

その他、目標の達成に向けて

- 公園内に水辺空間を作り出すことで、特に子どもの公園に対する愛着が深まると思ふ。